



未来の
後継者
へ

つなげよう 伝えよう いのちの平等

～2016年夏 職業体験のとりくみから～



看護師部門



今年の夏も高校生を迎えて、看護師体験が行われました。7月～8月にかけて8回企画し、30校から220人の参加でした。

白衣に着替え、病院見学後に数人に分かれて病棟体験です。血圧測定、手浴・足浴を体験し、また病棟内の機器なども説明します。

高校生からは、「こんな看護師さんになりたい」「看護師のイメージがいた」「大変そうだけどやりがいありそう」と感想をもらっています。

この体験参加者から、看護奨学生が毎年生まれています。

医師部門



医学生対策では現場の魅力を知ってもらい、医学生の成長を応援するため、年間を通して全学年医学生の実習を受け入れています。夏は多くの学生の参加がありますが、今回は例年になく実習人数が少なくなりました(図参照)。耳原の

〈実習参加の医学生数〉

	7月	8月	9月
今年	15名	22名	7名
去年	12名	8名	5名

ここ数年、4月に同仁会に就職される新入職員は約80人。医師、看護師、事務、リハビリ技師や薬剤師など、それぞれの現場での数年にかけての努力が、採用という実を結びます。この夏も、さまざまな採用活動・職業体験が行われました。3部門での取り組みを紹介します。



研修の魅力が広まっていることが、一番の理由でしょう。実際に実習に来た学生の多くが「総合診療をしっかり学べると聞いて...」「研修の指導体制がとても良いと聞いて...」「○○の評判を話してくれました。研修医が中心となって、熱心に学生対応を引き受けてくれ、他のスタッフも優しく接してくれるため、学生の満足度も満点です。

リハビリ部門



リハビリテーション科では、将来リハビリ職員をめざす高校生を対象に、「リハビリテーション職業体験」を実施しました。2日間、20人の参加でした。

将来の夢を実際に目の当たりにした高校生へ、にこやかに話してくれた患者さんの姿が、印象的でした。「リハビリ」という仕事のイメージがはっきりとしたという感想が多く、自分の将来像がより見えた1日となったのではないかと思います。

今回のように、リハビリという職業に触れるような取り組みを通じて、当院をはじめ、地域で活躍してくれるリハビリスタッフを増やしていく予定です。

こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより

「かかって良かった」を紹介してもらって良かった」を地域にひろげたい

耳原総合病院 サポートセンター 地域連携室



〒590-8505
堺市堺区協和町4丁465
TEL: 072-241-0501



地域連携室の業務は、地域のクリニックや病院からの受診、検査、入院などを受ける窓口業務から、地域の医療従事者との研修会開催など多岐に渡ります。2012年11月に地域医療支援病院の承認を受け、地域全体で患者さんを支える地域完結型の医療を担うため、事務、看護師、社会福祉士が力を合わせ切れ目のない医療の継続をすすめています。

同じ部屋には、サポートセンターとして、入院支援室、医療福祉相談室、患者相談室、臓器別センターなどのスタッフが常駐。かかりつけ医の先生からの緊急入院・手術の依頼に対して、病状確認やベッドの確保、社会保険制度の相談など、機動力を生かした迅速な対応に努めています。地域医療連携を

いっそう強化し、新病院での充実した入院環境や手術室等のハード面だけでなく、一人一人の患者さんを大切に、医療の向上をめざします。また、検査などの予約センターとして診療予約や検査を受ける際に、分かり易い説明に心がけ、不安などが軽減できればと考えています。

新病院となり、新たに紹介センターを開設。紹介を受けた患者さんの最初の窓口として「耳原にかかって良かった」と感じていただける対応をめざします。